

平成30年度第4回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 30 年 7 月 23 日 16 時 ~ 16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院 第3会議室
出席委員	毛受、森、北村、原、山中、伊藤、浅野、家崎、坂(敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	加藤 麻衣子
研究名	当院女性リハビリスタッフに対する職場環境調査
研究内容 要旨	当院リハビリテーションセンターにおいて、女性スタッフが過半数を占め、妊娠中に勤務し、産前・産後および育児休暇取得後も子育てをしながら勤務するスタッフも増加している。今回、女性スタッフに着目し働きやすい環境であるのか、また今後どんな支援が必要なのか、無記名のアンケート調査を実施する。
審議結果	承認 2018-06
参考	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないもの」であり、「心理的苦痛を伴わないアンケート調査」と考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	伊藤 唯
研究名	オーラルフレイルに対する病棟看護師と介護職員の意識調査
研究内容 要旨	加齢に伴い口腔機能の衰えは進むため、当病棟の患者はほぼすべての人がオーラルフレイルの状態にあるといえる。これまでも口腔ケアに関する看護研究が行われていたが、病棟看護師が多忙であることを理由に口腔ケアが十分に行えていない現状がある。本研究では病棟看護師と介護職員を対象にアンケート調査を実施し、オーラルフレイルに関する意識調査を行う。
審議結果	承認 2018-07
参考	「侵襲を伴わない研究であって介入を行わないもの」であり、「心理的苦痛を伴わないアンケート調査」と考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。
新規研究計画の審議	
申請者	中山 真由美
研究名	療養型病棟における固定チームナーシング導入取り組みについて 質の高い継続看護を目指して
研究内容 要旨	当病棟は、今年度4月より介護療養型から医療療養型へ移行した。以前は、ケアプランを中心とした機能別による看護体制で看護してきたが、個別能力と集団としての能力を統合した質の高いケアの提供を目指し、固定チームナーシング導入を試みた。完全導入するまでの過程について研究する。
審議結果	承認 2018-08
参考	職員を対象とするアンケート調査であるが、回答者を特定できない匿名の調査であり、心理的苦痛を伴うものではないと考えられたので、書類審議を行い、その結果承認とした。

新規研究計画の審議

申請者	野口 佑太
研究名	透析患者に対する透析中認知課題の影響
研究内容 要旨	透析患者は健常者と比較して注意機能を含む認知機能が低下していることが報告されており、認知症の合併率も増加している。透析患者にとって認知機能の低下は、服薬管理や水分管理等の遵守ができなくなることもあるため問題となることが多い。しかし、透析患者の認知機能面に対する介入報告はほとんどない。そこで、一般高齢者に対して注意機能や記憶機能などの認知機能向上に効果的であることが報告されているN-back課題を透析中に行うことで注意機能の向上が得られるかどうかについて調査する。
審議結果	承認 2018-09
参考	主体会病院に非常勤で勤務する医師が分担研究者として研究に参加しているが、その主たる勤務先である名古屋大学には、試料・情報を提供しない。また、名古屋大学その他の団体から、研究資金等の提供は受けていない。